

心地よい春を迎えるために 取り入れたいコト

春は、これまでの暮らしを見直したり、新しいことをスタートするのに良いタイミングです。

今回の特集では、この春取り入れたい様々な「コト」を紹介します。

P2-3 WELCOME TO SPRING!

暮らしを整える

P4-6 WELCOME TO SPRING!

春はキレイを楽しもう

WELCOME TO SPRING!

暮らしを整える

春は、部屋の模様替えにぴったりの季節。そこで、理想の暮らし方を提案するライフオーガナイザー・辻川さんにちょっとした工夫やポイントで、スッキリ、おしゃれに変身させるテクニックを伺った。

「模様替えの前にはまず、生活動線に沿ってモノの住所(収納場所)を決めることが大切です。それぞれの住所が決まれば、自然と部屋は整います。整ってからスタイリングをすることで、その状態を継続しやすくなります」。生活動線とは、玄関からリビング、リビングからキッチンなど行き来する動きのこと。「例えば、リビングのソファに子どもが脱いだ服や荷物が散らかるなら、ソファの置く場所に問題があります」。このように理由や原因を考え、解決策を出していくのが辻川流だ。それぞれの住所が決まったら、模様替えのポイントをおさえておこう。



左／配置のポイントは入り口から遠い場所に、机やソファなどの大きなモノを置くと動線が通りやすい。「絵や観葉植物などを置くのも良いでしょう。視線が奥に集中するので、部屋全体が広く見えますよ」。
右／散らばりがちな細かなモノは大きなボックスにまとめて。「小さな箱をたくさん並べるより、見栄えも良くてサッと片付けられるので便利です。この時期は毛布やブランケット類を収納しています」。

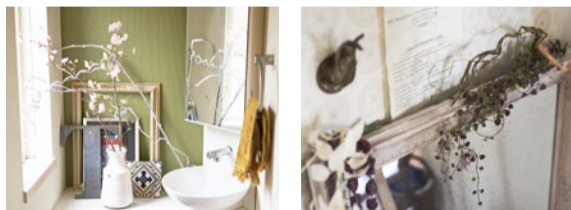


POINT 1

手入れしらずのグリーンを選ぼう

グリーンは気軽に部屋の雰囲気を変えられる便利なアイテム。「中でもヒヤシンスやチューリップなど、球根の水耕栽培は育てやすく初心者にもおすすめです。お気に入りの空き瓶に水を張って球根を入れるだけでおしゃれに見えますよ」。また、ユーカリやプロテリアなども辻川さんのお気に入り。「生花として楽しんだ後は、ドライフラワーにします。枯れたあとは水を抜いてしばらく放っておくだけで、ドライフラワーになります。簡単にできるし、違った表情が楽しめます」。

上／グルーピングして一つのトレイに並べると、まとまりが出る。
左／生花を飾るなら温度変化が少ないトイレがおすすめ。
右／「枯れた観葉植物をハンガーラックとして再利用しています」。



ライフオーガナイザー
辻川 舞さん

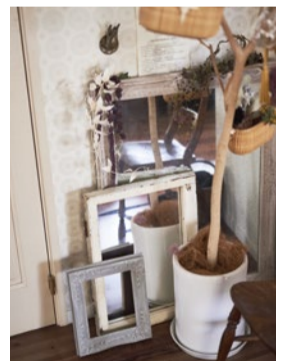
暮らしを最適化するために考え方をベースに、なりたい自分、したい暮らしができるよう、無理なく片づくスタイリングを提案する。整理収納、オーガナイズセミナーなど多方面で活躍中。



POINT 2

鏡で奥行きや光を取り込む

限られたスペースを有効的に使うためには、視覚的な効果を利用したい。「鏡を置くことで空間に奥行きが出たり、光を反射するので部屋全体の印象が変わりますよ」。インテリアとしても取り入れやすいアイテムだが、置く場所には気をつけたい。「我が家ではドアに対して横向きの場所や、部屋の奥に置いています。どちらも部屋の様子が映って広く見えます。また、窓際に置くと光を反射するなど、置く場所で効果が変わってきます」。部屋の特徴を見極めながら取り入れよう。

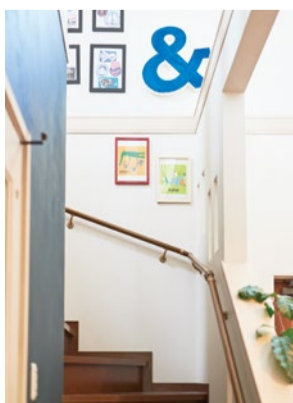


ドア横には大小様々な鏡を飾り、ギャラリーのように演出。「大きい鏡を置くのが難しい場所に使えるテクニックです」。

POINT 3

法則を取り入れた ハイセンスなインテリアへ

最後に教えてもらったのは、スタイリングのポイント。ちょっとしたテクニックで、センスの良い部屋は誰にでも作れるそうだ。「棚の上など空いたスペースに飾りたくなりますが、ポイントを決めて1箇所に配置すること。意図して置かれたワンランク上のスタイリングになります」と辻川さん。もう1つ欠かせないのが「3の法則」。アイテムを「3つ」並べることで、グッとハイセンスに。さらに高低差を意識した三角形をつくれれば、立体的になり遊び心のあるディスプレイが完成する。



上／クッションを3つ並べて、差し色をプラス。
左／視線が上がる位置には額を配置し、視覚効果が高く見せる。「色味のあるモノを配置することでより効果的になりますよ」。
下／カウンターの一隅にまとめられた植物や写真立て。「ドライフラワーは三角形を意識して、高さのあるものをチョイスしました」。

